

昭和50年代

酪農基盤の整備

基幹産業の酪農基盤整備のための事業が積極的に進められました。国家プロジェクトである北上山系開発事業の導入により、酪農は一大飛躍を遂げ、その原動力となる町畜産開発公社が設立されました。



【昭和51年】  
町畜産開発公社を設立



【昭和54年】北上山系開発事業で袖山トンネル完成

昭和57年に完成した北上山系開発事業は酪農振興のほか、後の風力発電施設建設にもつながった。総事業費146億5,000万円の巨費を投入



【昭和55年】山地酪農研修センターが開所

昭和40年代

教育と保健福祉の充実

県下に先駆けて教育振興運動に取り組み、教育施設の整備を積極的に進めました。分校だった葛巻高校の独立も実現。葛巻病院や母子保健センターなど保健福祉施設の充実にも力を注ぎました。



【昭和40年】教育振興運動推進委員会の様子。「子どもに勉強部屋を与えよう」「きれいなことばを使いましょう」「健康な町を築きましょう」が実践目標

【昭和41年】

町は、町民一体となって保健衛生の向上に取り組んだ業績が認められ、厚生大臣から「第18回保健文化賞」を受賞



【昭和45年】  
葛巻高校発足  
祝賀パレード  
(出発前)



【昭和48年】葛巻病院が現在地に新築移転（病床数60床、眼科新設）。写真中央が養護老人ホーム「葛葉荘」。手前の空き地は役場建設用地

昭和30年代

医療と公衆衛生の向上

産業の振興とともに「町民の幸せは健康であること」を基本とし、公衆衛生思想の普及啓発、母子保健をはじめとする保健行政に積極的に取り組みました。



【昭和33年】葛巻病院が開院（病床数28床）



【昭和35年】

町内で小児マヒが大流行（患者45人）

【昭和36年】

小児マヒの生ワクチンを旧ソ連から緊急輸入し、日本で初めて投与。保健婦補助員を各地区に設置



【昭和30年代】各地区で行われた乳児検診

【昭和36年】

各地区に公衆衛生組合が発足し、全世帯へ防疫薬剤の散布を開始



今を<sup>と</sup>つないで<sup>き</sup>未来へ

7月15日、本町は町制施行60周年を迎えます  
昭和30年7月15日、岩手郡葛巻町、江刈村、二戸郡田部村の3町村が合併して誕生した新制・葛巻町。今年、合併60周年を迎えます。この間、豊かな自然と資源を生かし、産業の振興、教育・福祉の向上、生活基盤の整備に努め、町は着実に発展の道を歩んできました。この節目に、町の歴史を振り返り、60年のあゆみをたどってみました。





私たちは  
先人から生きる知恵や  
豊かな自然を受け継いできました

先人たちは  
その時々を懸命に生き  
まちの歴史や文化、財産を  
築き上げてきました

そして60年

今を生きる私たちには  
先人が残してくれた宝を  
次の時代に  
つなげる使命があります

全町民が幸せを実感できる  
確かな未来を築くため  
今日という今を  
明日という未来につなげ  
伝えていきましょう

葛巻町60周年  
葛巻町畜産開発公社創立40周年  
葛巻高原食品加工(株)創立30周年  
合同記念式典開催のお知らせ

■日 時 7月15日(水) 10時～  
■場 所 社会体育館  
■祝賀会 12時15分～/モウモウ館

## 平成20年代

### 情報化と定住の推進

町民が安全で安心して暮らせるまちを目指し、情報伝達手段の多層化を実現するなど、災害に強い情報通信基盤を整備しました。現在、定住促進住宅の建築、葛巻病院の改築、葛巻高校山村留学など、若者が定住できる生活環境の構築を進め、人口減少問題克服のため取り組んでいます。



【平成21年】土地取得や若者の定住を支援する定住奨励金制度がスタート



【平成23年】くずまきテレビが開局。まちの話題やお知らせ、町議会中継などを町内全域にタイムリーに情報発信

※平成25年に完成した情報通信基盤施設は町内全域に光ファイバー網を巡らせ、多くの情報を瞬時に発信できる高度なシステムであり、ケーブルテレビ化などを実現

【平成26年】保育園の年長児を対象にバイオリン教室を開始



## 平成10年代

### 新エネルギー導入と交流人口拡大

「自然と人間の共生」を基本に、町の持つ多面的な資源と機能を最大限に生かし、環境負荷の小さい新エネルギー導入を積極的に進めるなど、地域資源を生かした交流人口の拡大に努めました。



【平成10年代】平成9年から始まった「くずまき高原牧場まつり」。当初の来場者数は約5千人、平成10年代に約3万人が訪れる一大イベントに発展

【平成12年】第1回町植樹祭を開催。以降毎年開催され、今年で16回を数える



【平成15年】グリーンパワーくずまき風力発電所が稼働（上外川高原12基）

【平成15年】くずまき高原牧場に畜産バイオガスプラントが完成



## 昭和60年代から平成へ

### 地域資源活用と交流基盤整備

山ぶどうワインを製造開始。宿泊施設や総合運動公園の整備などにより都市との交流を進めました。また、地域資源の価値を高める企業誘致など雇用の創出と地域の活性化に努めました。



【昭和63年】昭和61年に設立された葛巻高原食品加工(株)が念願の山ぶどうワインを発売。当初伸び悩んだ売り上げは、平成10年に3億円、現在は4億5千万円を達成

【平成3年】誘致企業の高梨乳業(株)岩手工場が創業を開始



【平成5年】ふれあい交流センター（総合運動公園、グリーンテージ）が完成



【平成8年】くずまき交流館プラトーが完成

